



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2019年2月7日

上場会社名 株式会社ワコム 上場取引所 東  
 コード番号 6727 URL https://www.wacom.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 井出 信孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 CFO (氏名) 町田 洋一 TEL 03-5337-6502  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	73,734	13.0	6,062	51.3	6,046	43.8	4,333	8.9
2018年3月期第3四半期	65,273	19.2	4,007	540.4	4,203	447.3	3,978	ー

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 4,258百万円 (△7.3%) 2018年3月期第3四半期 4,595百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	26.68	26.68
2018年3月期第3四半期	24.50	24.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	62,078	25,970	41.8	159.79
2018年3月期	50,910	22,668	44.5	139.45

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 25,954百万円 2018年3月期 22,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	ー	0.00	ー	6.00	6.00
2019年3月期	ー	0.00	ー		
2019年3月期 (予想)				6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	8.2	4,000	13.4	3,920	9.4	2,980	26.2	18.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	166,546,400株	2018年3月期	166,546,400株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	4,121,301株	2018年3月期	4,175,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	162,407,427株	2018年3月期3Q	162,371,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年12月31日まで）における当社グループを取り巻く事業環境において、IT市場では、IoT（モノのインターネット）による情報ネットワークの拡大やデータソースの多様化に加え、モバイル、クラウド、ビッグデータ、ソーシャルメディアに関連した技術革新や利便性向上などが見られました。なお、同期間の主要通貨に対する円相場は、各国の景気や金融・貿易政策等に対する見方を反映し、前年同期の平均レートと比較すると対ドルや対中国元で僅かに円高、対ユーロで僅かに円安となりました（為替変動による業績への影響は、連結売上高を約5億円押し下げ、連結営業利益を約5千万円押し下げたと試算）。

このような事業環境の下、当社グループは、当期（2019年3月期）を初年度とする中期経営計画「Wacom Chapter 2」を策定し、「テクノロジー・カンパニー」としてペンやインクのデジタル技術で常に市場の主導権を握りつつ、持続的な成長を目指してまいりました。当第3四半期連結累計期間では、IoT、VR（仮想現実）/MR（複合現実）、3D（三次元）プリンティング、AI（人工知能）、セキュリティ（安全性）といった成長分野において、事業モデルを一段と進化させるための将来戦略を協業先とともに新たな経営チームの下で推し進め、経営判断の質の向上を通して生産性やコスト構造の改善など経営課題にも全社的に取り組みました。

ブランド製品事業については、創造性発揮のための最高体験をお客様にお届けするため、技術革新へ取り組むとともに、顧客サービスの向上に努めました。当第3四半期連結累計期間では、クリエイティブビジネスにおいて、ペンタブレット製品の売上高が前年同期を下回ったことなどから、ブランド製品事業全体としての売上高は、前年同期を小幅に下回る結果となりました。

テクノロジーソリューション事業については、OSプラットフォームの壁を越えてデジタルペン技術（EMR：Electro Magnetic Resonance方式、アクティブES：Active Electrostatic方式）の事実上の標準化に取り組むとともに、タブレット・ノートPC市場での利用拡大や教育市場での事業機会の拡大に努めました。当第3四半期連結累計期間では、スマートフォン向けならびにタブレット・ノートPC向けにメーカー各社からの需要が増加したことなどから、テクノロジーソリューション事業全体としての売上高は、前年同期を大幅に上回る結果となりました。

中期経営計画の経営課題に対する全社的な取り組みとしては、利益重視の経営を目指し、組織やオペレーションの改革とコスト構造の改善などに努めました。第1四半期連結累計期間には、オペレーションの効率性改善や利益性向上の観点から、稼働中のグローバル基幹業務システム（ソフトウェア資産）に対しても見直しを行い一部除却を決定し、固定資産除却損（142,091千円）を計上しました。また、当第3四半期連結累計期間では、研究開発費の投下時期や広告宣伝費などの費用の必要性の見極めを行い、グローバル基幹業務システムに関連した経費の削減など、販管費の最適化に引き続き取り組んだことで、売上高販管費率は26.7%と前年同期と比較して6.4ポイント低下しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が73,733,948千円（前年同期比13.0%増）となり、営業利益は6,062,123千円（同51.3%増）、経常利益は6,045,882千円（同43.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,332,848千円（同8.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブランド製品事業

<クリエイティブビジネス>

クリエイティブビジネスは、商戦期に追加的な販売促進策を実施しましたが、ペンタブレット製品の売上高が前年同期を下回ったことなどから減収となりました。

○ ペンタブレット製品

「Wacom Intuos Pro (ワコム インテュオス プロ)」は、2017年1月の発表から約2年が経過し、販売が減速し始めたことから、前年同期の売上を僅かながら下回りました。「Wacom Intuos (ワコム インテュオス)」は、2018年3月に発表した新製品の市場浸透が進まなかったこと、また、競争環境の影響を受けたことにより売上が減少しました。新興地域において昨年多くの新規ユーザーを獲得した低価格エントリーモデル「One by Wacom (ワン バイ ワコム)」も、前年同期の売上を僅かながら下回りました。これらの結果、ペンタブレット製品全体の売上高は、前年同期を下回りました。

○ ディスプレイ製品

液晶ペンタブレット「Wacom Cintiq Pro (ワコム シンティック プロ)」の製品ラインアップの強化を図りました。それらの新製品の売上が、市場の需要を満たすまでに供給体制を整えたことで増加しました。一方で、既存製品の売上が減少したことから、ディスプレイ製品全体の売上高は、前年同期を小幅に上回る結果となりました。

○ モバイル製品

デジタルペン搭載タブレット市場が拡大し競争環境が大きく変化するなか、主力製品である「Wacom MobileStudio Pro (ワコム モバイルスタジオ プロ)」は、製品ライフサイクルの後期に入ったことで売上が大幅に減少しました。この結果、モバイル製品全体の売上高は、前年同期を大幅に下回りました。

<コンシューマビジネス>

マイクロソフト社との共同開発によるWindows対応タブレットに最適なスタイラスペン「Bamboo Ink (バンブー インク)」は、2017年6月の発表から1年を超え、販売が減速したことから、前年同期と比較して不調な結果となりました。この結果、コンシューマビジネス全体の売上高は、前年同期を下回りました。

<ビジネスソリューション>

液晶サインタブレット製品「STU (エスティユー)」シリーズは金融機関向けを中心に、液晶ペンタブレット製品「DT (ディーティー)」シリーズは教育機関向けを中心に、それぞれ米国で好調に売上を伸ばしました。これらの結果、ビジネスソリューション全体の売上高は、前年同期を上回りました。

これらの結果、ブランド製品事業の売上高は35,560,511千円(前年同期比5.0%減)、セグメント利益は4,496,181千円(同17.9%減)となりました。

② テクノロジーソリューション事業

<スマートフォン向けペン・センサーシステム>

主要顧客であるサムスン社の最新モデル向けの売上がデジタルペン製品の機能強化により増加したことや、既存モデル向けの売上も継続したことから、スマートフォン向けペン・センサーシステム全体の売上高は、前年同期を大幅に上回りました。

<タブレット・ノートPC向けペン・センサーシステム>

アクティブES方式デジタルペン製品の需要がメーカー各社から高い評価を得て増加したことから、タブレット・ノートPC向けペン・センサーシステム全体の売上高は、前年同期を上回りました。

これらの結果、テクノロジーソリューション事業の売上高は38,173,437千円(前年同期比39.4%増)、セグメント利益は7,558,455千円(同43.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、62,078,456千円となり、前連結会計年度末に比べ11,168,943千円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が3,543,497千円、商品及び製品が4,996,883千円及びその他流動資産が1,970,739千円増加したことによります。

負債の残高は、36,108,438千円となり、前連結会計年度末に比べ7,867,406千円増加しました。これは主に、買掛金が6,517,887千円及び未払法人税等が2,389,802千円増加したことによります。

純資産の残高は、25,970,018千円となり、前連結会計年度末に比べ3,301,537千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益で4,332,848千円増加し、剰余金の配当で974,227千円減少したことによります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.7ポイント減少し、41.8%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、697,295千円減少（前年同期は4,646,313千円増加）し、当第3四半期連結会計期間末では、18,459,832千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内訳は、次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2,453,978千円（前年同期は5,309,550千円の収入）となりました。主な増加は、税金等調整前四半期純利益5,905,960千円及び仕入債務の増加額6,620,557千円であり、主な減少は、売上債権の増加額5,229,542千円及びたな卸資産の増加額5,206,221千円です。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2,205,094千円（前年同期は310,971千円の使用）となりました。主な内訳は、固定資産の取得による支出2,197,109千円です。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、951,092千円（前年同期は972,301千円の使用）となりました。主な内訳は、自己株式の処分による収入21,840千円及び配当金の支払額972,932千円です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2018年10月12日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した内容に変更はありません。しかしながら、2018年11月5日の「2019年3月期 第2四半期決算短信」の添付資料で公表した事業セグメント別売上高、セグメント利益の予想値については、以下の状況を踏まえて、本添付資料P. 12「3. 補足情報」に記載のとおり見直しております。

当第3四半期連結会計期間（2018年10月1日から2018年12月31日まで）は、テクノロジーソリューション事業において、スマートフォン向けならびにタブレット・ノートPC向けペン・センサーシステムに対するメーカー各社からの需要が増加したことなどにより、当第3四半期連結会計期間の連結業績は、売上高、営業利益ともに想定を上回りました。この結果、通期連結業績予想に対して、売上高、営業利益ともに高い進捗率となりました。

一方で、第4四半期連結会計期間（2019年1月1日から2019年3月31日まで）は、ブランド製品事業においては、クリエイティブビジネスで主力製品の売上が想定を下回る見通しであります。また、ブランド製品事業、テクノロジーソリューション事業の両事業において、次期以降の事業成長に向けた研究開発等を予定していることなどにより、第4四半期連結会計期間の連結業績は、売上高、営業利益ともに想定を下回る見通しであります。

当社グループは、2018年5月11日公表の中期経営計画において掲げた経営方針に沿って、より一層お客様にフォーカスした効果的な事業戦略を立案・展開し、連結業績予想の達成を目指してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,157,127	18,459,832
受取手形及び売掛金	10,738,243	14,281,740
商品及び製品	7,621,300	12,618,183
仕掛品	162,693	206,963
原材料及び貯蔵品	1,935,894	2,068,875
その他	2,612,008	4,582,747
貸倒引当金	△32,147	△19,863
流動資産合計	42,195,118	52,198,477
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	4,301,363	4,141,066
有形固定資産合計	4,301,363	4,141,066
無形固定資産		
その他	2,951,431	3,209,619
無形固定資産合計	2,951,431	3,209,619
投資その他の資産		
その他	1,520,716	2,587,615
貸倒引当金	△59,115	△58,321
投資その他の資産合計	1,461,601	2,529,294
固定資産合計	8,714,395	9,879,979
資産合計	50,909,513	62,078,456
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,100,670	13,618,557
短期借入金	3,000,000	3,000,000
未払法人税等	322,577	2,712,379
賞与引当金	1,037,202	687,834
役員賞与引当金	48,908	25,203
その他	5,242,731	4,625,581
流動負債合計	16,752,088	24,669,554
固定負債		
長期借入金	10,000,000	10,000,000
退職給付に係る負債	809,066	838,275
資産除去債務	234,735	248,210
その他	445,143	352,399
固定負債合計	11,488,944	11,438,884
負債合計	28,241,032	36,108,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,203,469	4,203,469
資本剰余金	6,098,918	6,100,962
利益剰余金	14,522,032	17,880,653
自己株式	△1,900,416	△1,875,838
株主資本合計	22,924,003	26,309,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	△3,136
為替換算調整勘定	△284,565	△356,331
退職給付に係る調整累計額	3,749	3,881
その他の包括利益累計額合計	△280,730	△355,586
新株予約権	25,208	16,358
純資産合計	22,668,481	25,970,018
負債純資産合計	50,909,513	62,078,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	65,272,936	73,733,948
売上原価	39,651,854	48,016,490
売上総利益	25,621,082	25,717,458
販売費及び一般管理費	21,614,246	19,655,335
営業利益	4,006,836	6,062,123
営業外収益		
受取利息	57,421	33,627
為替差益	129,119	—
その他	41,469	27,825
営業外収益合計	228,009	61,452
営業外費用		
支払利息	30,139	30,495
為替差損	—	41,532
その他	1,774	5,666
営業外費用合計	31,913	77,693
経常利益	4,202,932	6,045,882
特別利益		
固定資産売却益	1,047	3,547
投資有価証券売却益	—	898
新株予約権戻入益	100,289	1,884
事業譲渡益	697,926	—
特別利益合計	799,262	6,329
特別損失		
固定資産売却損	203	338
固定資産除却損	43,643	145,913
特別損失合計	43,846	146,251
税金等調整前四半期純利益	4,958,348	5,905,960
法人税等	980,457	1,573,112
四半期純利益	3,977,891	4,332,848
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,977,891	4,332,848

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	3,977,891	4,332,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,949	△3,222
為替換算調整勘定	609,125	△71,766
退職給付に係る調整額	6,390	132
その他の包括利益合計	617,464	△74,856
四半期包括利益	4,595,355	4,257,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,595,355	4,257,992
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,958,348	5,905,960
減価償却費	1,850,776	1,770,707
株式報酬費用	4,771	△2,268
固定資産除却損	43,643	145,914
新株予約権戻入益	△100,289	△1,884
事業譲渡損益 (△は益)	△697,926	—
引当金の増減額 (△は減少)	10,018	△384,202
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12,753	29,429
受取利息及び受取配当金	△57,421	△33,627
支払利息	30,139	30,495
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,071,873	△5,229,542
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,725,933	△5,206,221
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,646,232	6,620,557
その他	△503,407	△392,539
小計	5,851,697	3,252,779
利息及び配当金の受取額	57,939	33,312
利息の支払額	△29,026	△28,460
法人税等の支払額	△571,060	△803,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,309,550	2,453,978
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△890,430	△2,197,109
固定資産の売却による収入	4,212	7,164
事業譲渡による収入	571,881	—
その他	3,366	△15,149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△310,971	△2,205,094
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	3,000,000	—
短期借入金の返済による支出	△3,000,000	—
自己株式の処分による収入	—	21,840
配当金の支払額	△972,301	△972,932
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△972,301	△951,092
現金及び現金同等物に係る換算差額	620,035	4,913
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,646,313	△697,295
現金及び現金同等物の期首残高	14,204,928	19,157,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,851,241	18,459,832

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

ストック・オプションの行使による自己株式の処分に伴い、当第3四半期連結累計期間において自己株式が24,578千円(54,000株)減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は1,875,838千円(4,121,301株)となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ブランド製品 事業	テクノロジ ーソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	37,444,446	27,386,542	64,830,988	441,948	65,272,936	—	65,272,936
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	37,444,446	27,386,542	64,830,988	441,948	65,272,936	—	65,272,936
セグメント利益 又は損失(△)	5,477,117	5,268,017	10,745,134	△65,524	10,679,610	△6,672,774	4,006,836

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリングソリューションであります。なお、エンジニアリングソリューション事業については、2017年12月1日付で会社分割により新設会社に承継させるとともに、当該新設会社の全株式を譲渡しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△6,672,774千円は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ブランド製品 事業	テクノロジ ーソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,560,511	38,173,437	73,733,948	—	73,733,948	—	73,733,948
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	35,560,511	38,173,437	73,733,948	—	73,733,948	—	73,733,948
セグメント利益	4,496,181	7,558,455	12,054,636	—	12,054,636	△5,992,513	6,062,123

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリングソリューションであります。なお、エンジニアリングソリューション事業については、2017年12月1日付で会社分割により新設会社に承継させるとともに、当該新設会社の全株式を譲渡しております。

2. セグメント利益の調整額△5,992,513千円は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

2019年3月期 第3四半期決算概要(連結累計期間)

(1) 決算業績

	18年3月期	19年3月期	対前年同期増減		18年3月期	19年3月期		対前年同期増減		対前回予想増減	
	Q3累計実績	Q3累計実績	金額	率	通期実績	通期予想	(前回予想)	金額	率	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	(百万円)	百万円		百万円	
売上高	65,273	73,734	8,461	13.0%	82,263	89,000	(89,000)	6,737	8.2%	0	0.0%
営業利益	4,007	6,062	2,055	51.3%	3,527	4,000	(4,000)	473	13.4%	0	0.0%
(営業利益率)	6.1%	8.2%			4.3%	4.5%	4.5%				
経常利益	4,203	6,046	1,843	43.8%	3,585	3,920	(3,920)	335	9.4%	0	0.0%
(経常利益率)	6.4%	8.2%			4.4%	4.4%	4.4%				
当期純利益	3,978	4,333	355	8.9%	2,362	2,980	(2,980)	618	26.2%	0	0.0%
(当期純利益率)	6.1%	5.9%			2.9%	3.3%	3.3%				
P/L換算為替レート(期中平均)	円	円	円		円	円	円	円		円	
(USドル)	111.82	110.82	-1.00	-0.9%	110.81	111.00	(111.00)	0.19	0.0%	0.00	0.0%
(ユーロ)	128.59	129.38	0.79	0.6%	129.45	129.00	(130.00)	-0.45	-0.5%	-1.00	-0.8%

注) 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」に相当します。

注) 2019年3月期通期予想( )内の前回予想数字は、2018年11月5日付の決算短信に添付した補足資料の数値です。

(2) 事業セグメント別業績

	18年3月期	19年3月期	対前年同期増減		18年3月期	19年3月期		対前年同期増減		対前回予想増減	
	Q3累計実績	Q3累計実績	金額	率	通期実績	通期予想	(前回予想)	金額	率	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	(百万円)	百万円		百万円	
ブランド製品事業											
売上高	37,444	35,561	-1,883	-5.0%	48,173	46,000	(49,000)	-2,173	-4.5%	-3,000	-6.1%
セグメント利益	5,477	4,496	-981	-17.9%	6,470	5,500	(6,500)	-970	-15.0%	-1,000	-15.4%
(利益率)	14.6%	12.6%			13.4%	12.0%	13.3%				
テクノロジーソリューション事業											
売上高	27,387	38,173	10,786	39.4%	33,648	43,000	(40,000)	9,352	27.8%	3,000	7.5%
セグメント利益	5,268	7,558	2,290	43.5%	5,678	6,900	(5,900)	1,222	21.5%	1,000	16.9%
(利益率)	19.2%	19.8%			16.9%	16.0%	14.8%				
その他の事業											
売上高	442	--	-442	-100.0%	442	--	--	-442	-100.0%	--	--
セグメント利益	-66	--	66	--	-65	--	--	65	--	--	--
(利益率)	-14.8%	--			-14.8%	--	--				

注) 各事業別の利益は、管理部門などコーポレート費用の調整額の消去前です。

注) その他の事業(エンジニアリングソリューション事業)は、2017年12月1日付で譲渡し、実績は2018年3月期のみです。

(3) 製品ライン別売上

(現地法人別)	18年3月期	19年3月期	対前年同期増減		18年3月期	19年3月期		対前年同期増減		対前回予想増減	
	Q3累計実績	Q3累計実績	金額	率	通期実績	通期予想	(前回予想)	金額	率	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	(百万円)	百万円		百万円	
ブランド製品事業	<b>37,444</b>	<b>35,561</b>	<b>-1,883</b>	<b>-5.0%</b>	<b>48,173</b>	<b>46,000</b>	<b>(49,000)</b>	<b>-2,173</b>	<b>-4.5%</b>	<b>-3,000</b>	<b>-6.1%</b>
クリエイティブビジネス	31,587	29,665	-1,922	-6.1%	40,362	38,640	(41,490)	-1,722	-4.3%	-2,850	-6.9%
ペンタブレット	18,322	16,833	-1,489	-8.1%	23,390	21,380	(22,390)	-2,010	-8.6%	-1,010	-4.5%
(日本)	1,536	1,192	-344	-22.4%	2,040						
(米国)	5,442	4,888	-554	-10.2%	6,839						
(ドイツ)	5,314	4,631	-683	-12.9%	6,909						
(アジア・オセアニア)	6,030	6,122	92	1.5%	7,602						
ディスプレイ	10,162	10,670	508	5.0%	13,045	14,510	(15,950)	1,465	11.2%	-1,440	-9.0%
(日本)	2,096	2,097	1	0.1%	2,715						
(米国)	3,443	4,030	587	17.0%	4,577						
(ドイツ)	2,220	2,254	34	1.5%	2,822						
(アジア・オセアニア)	2,403	2,289	-114	-4.7%	2,931						
モバイル	3,103	2,162	-941	-30.4%	3,927	2,750	(3,150)	-1,177	-30.0%	-400	-12.7%
(日本)	711	488	-223	-31.4%	971						
(米国)	925	746	-179	-19.4%	1,120						
(ドイツ)	588	523	-65	-11.1%	733						
(アジア・オセアニア)	879	405	-474	-53.9%	1,103						
コンシューマビジネス	2,530	1,813	-717	-28.4%	3,310	2,180	(2,460)	-1,130	-34.1%	-280	-11.4%
(日本)	149	90	-59	-39.8%	214						
(米国)	1,622	1,137	-485	-29.9%	2,113						
(ドイツ)	507	409	-98	-19.3%	664						
(アジア・オセアニア)	252	177	-75	-29.7%	319						
ビジネスソリューション	3,327	4,083	756	22.7%	4,501	5,180	(5,050)	679	15.1%	130	2.6%
(日本)	809	709	-100	-12.3%	1,072						
(米国)	676	1,319	643	95.0%	950						
(ドイツ)	1,411	1,551	140	10.0%	1,880						
(アジア・オセアニア)	431	504	73	16.8%	599						
テクノロジーソリューション事業	<b>27,387</b>	<b>38,173</b>	<b>10,786</b>	<b>39.4%</b>	<b>33,648</b>	<b>43,000</b>	<b>(40,000)</b>	<b>9,352</b>	<b>27.8%</b>	<b>3,000</b>	<b>7.5%</b>
スマートフォン向け	10,871	17,153	6,282	57.8%	11,708	18,050	(16,480)	6,342	54.2%	1,570	9.5%
タブレット向け他	16,516	21,020	4,504	27.3%	21,940	24,950	(23,520)	3,010	13.7%	1,430	6.1%
その他の事業	442	--	-442	-100.0%	442	--	--	-442	-100.0%	--	--
エンジニアリングソリューション	442	--	-442	-100.0%	442	--	--	-442	-100.0%	--	--
(日本)	442	--	-442	-100.0%	442						
合計	<b>65,273</b>	<b>73,734</b>	<b>8,461</b>	<b>13.0%</b>	<b>82,263</b>	<b>89,000</b>	<b>(89,000)</b>	<b>6,737</b>	<b>8.2%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>

## (4) 現地法人別売上

	18年3月期		19年3月期		対前年同期増減		18年3月期		19年3月期		対前年同期増減		対前回予想増減	
	Q3累計実績	Q3累計実績	金額	率	金額	率	通期実績	通期予想	(前回予想)	金額	率	金額	率	
	百万円	百万円	百万円		百万円		百万円	百万円	(百万円)	百万円		百万円		
日本	33,129	42,749	9,620	29.0%	41,103	49,370	(46,780)	8,267	20.1%	2,590	5.5%			
(うち、テクノロジーソリューション事業除く日本)	5,742	4,576	-1,166	-20.3%	7,455	6,370	(6,780)	-1,085	-14.6%	-410	-6.0%			
米国	12,109	12,120	11	0.1%	15,599	15,000	(16,040)	-599	-3.8%	-1,040	-6.5%			
ドイツ	10,040	9,368	-672	-6.7%	13,007	12,580	(13,480)	-427	-3.3%	-900	-6.7%			
アジア・オセアニア	9,995	9,497	-498	-5.0%	12,554	12,050	(12,700)	-504	-4.0%	-650	-5.1%			
合計	65,273	73,734	8,461	13.0%	82,263	89,000	(89,000)	6,737	8.2%	0	0.0%			

注)テクノロジーソリューション事業の売上はすべて日本に集計しています。

注)ドイツは欧州・中東・アフリカ地域を含む。アジア・オセアニアは中国、韓国、オーストラリア、シンガポール、台湾、インドの現地法人の合計です。

## (5) 資本的支出、減価償却費、研究開発費

	18年3月期		19年3月期		対前年同期増減		18年3月期		19年3月期		対前年同期増減		対前回予想増減	
	Q3累計実績	Q3累計実績	金額	率	金額	率	通期実績	通期予想	(前回予想)	金額	率	金額	率	
	百万円	百万円	百万円		百万円		百万円	百万円	(百万円)	百万円		百万円		
資本的支出	833	2,016	1,183	142.1%	1,513	2,400	(3,300)	887	58.6%	-900	-27.3%			
減価償却費	1,851	1,771	-80	-4.3%	2,421	2,400	(2,600)	-21	-0.9%	-200	-7.7%			
研究開発費	3,285	2,890	-395	-12.0%	4,385	4,850	(5,000)	465	10.6%	-150	-3.0%			

注)資本的支出は、有形固定資産及び無形固定資産の新規取得金額の合計です。